

No.					市立甲府病院 機能仕様書
Lv1	Lv2	Lv3	Lv4	Lv5	要件項目
21	1				生理検査部門システム(基幹部)
21	1	1			基本機能
21	1	1	1		本システムで管理保存するデータは、生理検査システム、心電図ファイリングシステムデータベース及びサーバ等で構成されること。
21	1	1	3		保存されているデータへのアクセスに対し、その処理内容をログ出力し、誰がどのような情報への入力、更新を行ったか識別する機能を有すること。
21	1	1	4		レポート確定操作を行った情報の保存と共に、その日時並びに利用者識別情報などの情報が、確定操作の対象となる情報単位に関連づけて記録する機能を有すること。
21	1	1	5		保存されたデータの更新に際しては、更新前の情報と更新後の情報が関連づけられ、それらの関連が相互に識別できるように保存する機能を有すること。
21	1	1	6		既設生理検査部門システムのデータ移行を行い、本システムにおいても同様に検査状況確認、検査結果、報告書の入力、確認が行えること。
21	1	1	7		生理検査室に設置する電子カルテ端末に、部門システムが相乗りして運用できること。生理検査室のシステムのライセンスは20以上であること。
21	1	2			電子カルテシステムとの連携
21	1	2	1		生理検査に関わる検査オーダー情報を取得できること。
21	1	2	2		オーダー情報(患者基本情報、検査種別、検査予約日時、依頼科名、依頼コメント、検査指示など)を受信する機能を有すること。
21	1	2	3		本システムで患者到着時に検査受付を行うことで、電子カルテシステムへ到着情報を送信できること。
21	1	2	4		本システムで検査実施時に検査実施を行うことで、電子カルテシステムへ検査完了通知を送信できること。
21	1	2	5		電子カルテシステムからの検査中止情報を受信できること。
21	1	2	6		本システムで受付を行った後に、受付キャンセルを行うことで電子カルテシステムのステータスが未検査に戻るように連携が行えること。
21	1	2	7		休日に検査をした場合の実施情報に関しては、実施日に日付を変更して送信できる機能を有すること。
21	1	2	8		電子カルテ端末の要求に応え、管理しているデータをその端末のWebブラウザで表示可能なこと。
21	1	2	9		電子カルテ端末でのデータ参照に際して患者ID、氏名、検査日、検査種別、オーダー番号を引数として利用し、検索条件として使用できること。
21	1	2	10		電子カルテ端末で参照する超音波画像は検査機器から取得したオリジナルデータ(DICOM)のまま参照する機能を有すること。
21	1	2	11		Web参照時、超音波動画(動画保存も認めた場合の運用時に限り)は動画参照する機能を有すること。
21	1	2	12		画像データの参照に関する機能は、生理機能検査システム端末と同等であること。
21	1	2	13		産科で取得した超音波画像についても、本システムとはリンク先を別にして電子カルテからの要求に対し参照できる機能を有すること。
21	1	2	14		過去データに関しては、既設システムのデータを移行し継続して利用できること。
21	1	3			検査機器との連携
21	1	3	1		心電計とオンラインで接続できる機能を有すること。
21	1	3	2		トレッドミル装置とオンライン接続できる機能を有すること。
21	1	3	3		ホルター心電図解析装置とオンライン接続できる機能を有すること。
21	1	3	4		簡易肺機能装置(ミナト社製SYSTEM7)とオンライン接続できる機能を有すること。
21	1	3	5		精密肺機能装置(ミナト社製SYSTEM21)とオンライン接続できる機能を有すること。
21	1	3	6		超音波検査システムとオンライン接続できること。
21	1	3	7		オンライン接続は、下記が実現できること。 検査オーダー情報(患者基本情報含む)、検査結果受信
21	1	3	8		検査結果を取得したタイミングで自動実施が行えること。自動実施は、検査によって手動、自動が設定で行えること。
21	1	4			リスト表示機能
21	1	4	1		表示項目は以下のとおりであること。 ・患者ID・氏名・年齢・入外区分・病棟名・依頼科名・検査種別・検査(予定)日時・検査(受付)日時・検査(実施)日時・検査データ登録数・(画像枚数)・レポート版数検査進捗(未受付、受付、検査中、実施、仮報告、報告済)
21	1	4	2		表示項目は設定により、並び順を変更する機能を有すること。
21	1	4	3		リストの表示は最新の状態を表示するために、自動更新する機能を有すること。
21	1	4	4		表示されたリストをレーザープリンタに印字する機能を有すること。
21	1	4	5		表示されたリストをCSV出力する機能を有すること。
21	1	4	6		表示されたリストからワンクリックで該当患者の前回検査データを表示する機能を有すること。
21	1	4	7		表示リストは識別しやすいように検査状態(ステータス)毎に色分け表示をおこなうこと。
21	1	4	8		検査状態(ステータス)が変更された場合は、接続された各端末にその都度自動的に反映をおこなうこと。
21	1	4	9		表示されたリストからワンクリックで依頼された詳細情報を確認できる機能を有すること。
21	1	4	10		表示されたリストからワンクリックで該当患者に関する当日以降の予約情報を表示する機能を有すること。
21	1	4	11		同姓同名が存在する場合は注意を喚起する表示を有すること。
21	1	4	12		患者様到着時に検査受付ができる機能を有すること。
21	1	4	13		患者様到着時に検査実施ができる機能を有すること。
21	1	4	14		検査受付時に所定の場所に検査指示票の印刷が行えること。
21	1	4	15		検査指示票に印字する内容は、検査日、時間、氏名、ID、検査内容、検査指示、診断名、前回検査日であること。
21	1	5			検査報告書機能
21	1	5	1		専用レポート機能としては、超音波検査レポートであること。
21	1	5	2		超音波レポートは部位毎にレポートが存在すること。
21	1	5	3		超音波レポートの内容は、既設レポートの書式を使用すること。
21	1	5	4		検査項目毎に取得した検査結果の参照が行え、検査コメントが入力できること。
21	1	5	5		検査コメントは、定型文を登録できる機能を有すること。
21	1	5	6		所見入力時に前回検査で入力した所見が所定欄に自動で貼り付けできること。
21	1	5	7		超音波検査システムで取得した超音波画像をレポートに貼り付けできること。
21	1	5	8		前回検査レポートを参照できる機能を有すること。
21	1	5	9		放射線画像システムの検査画像を参照できる機能を有すること。
21	1	5	10		レポート機能として、オフラインデータの登録が行えること。 ファイル形式は、JPG、PNG、BMP、PDFを含むこと。
21	1	5	11		紙記録に関してはスキャナを使用しレポートを登録することができること。
21	1	5	12		スキャナ設定は検査項目によって設定が行えること。
21	1	6			統計機能
21	1	6	1		日報、月報、年報作成機能を有すること
21	1	6	2		集計される項目は検査種別、依頼科別、検査実施者別であること。
21	1	6	3		患者待ち時間を把握するために、受付から検査終了までの時間を集計する機能を有すること。
21	1	6	4		作成された日報、月報、年報はレーザープリンタに印字する機能を有すること。
21	1	7			データ移行
21	1	7	1		診療、診断を行うために既存システムのデータを移行すること。

21	1	7	2	移行データは下記通り ・検査オーダー情報・患者基本情報・検査報告書データ・心電図波形（PDF）・呼吸機能データ・オフラインで登録されたデータ
21	1	7	3	本システムにおいても、既存システムのデータと連携し時系列で参照が可能なこと。
21	1	8		その他
21	1	8	1	機器の操作・運用やサービスのため、日本語マニュアルを提出すること。
21	2			生理検査部門システム（超音波画像管理）
21	2	1		基本機能
21	2	1	1	データ保存は十分な冗長性を確保すること。また万が一に備え、バックアップ機能を有し、データ復旧を行えること。
21	2	1	2	無停電電源装置等を有し、電源異常の発生時には非常電源に切り替わるまでの電源供給を行えること。
21	2	1	3	超音波DICOM画像は、事業者が準備するサーバに保存し、運用期間中のデータを保存すること。
21	2	1	4	既設超音波診断装置とDICOM接続を行えること。
21	2	1	5	取得した情報は、画像表示、検査レポートの作成が行えること。
21	2	2		電子カルテシステムとの連携は下記条件を満たすこと。
21	2	2	1	超音波DICOM画像及びレポート情報は、電子カルテ端末から患者番号やオーダー番号を引数にWEB参照できること。
21	2	2	2	WEBで表示するDICOM画像は、静止画、動画に対応していること。
21	2	3		生理検査部門システム（基幹部）との接続
21	2	3	1	患者情報（患者ID・漢字氏名・カナ氏名・生年月日・年齢・性別・身長・体重）、検査依頼情報（受付区分・依頼科・依頼病棟・依頼医師・依頼目的検査種類など）取得できること。
21	2	3	2	検査依頼情報は依頼発生後、瞬時に取得し、表示することができること。
21	2	3	3	検査オーダー状況機能は、生理検査部門システム（基幹部）で使用する機能を利用し、超音波検査だけでなく、生理検査に必要な検査オーダー情報を全て表示することが行えること。
21	2	3	4	検査受付、実施処理及び電子カルテシステムに進捗情報を送信することが行えること。
21	2	3	5	超音波検査に必要な情報の取得が出来ること。（例：生理機能検査履歴、患者状態、投薬情報など）
21	2	3	6	生理検査部門システム（基幹部）で管理する心電図生波形、呼吸機能装置からの検査レポートを表示する事が行えること。
21	2	3	7	生理検査部門システム（基幹部）で用意するスキャナ装置との接続が行えること。
21	2	4		超音波診断装置との接続
21	2	4	1	超音波診断装置との接続は、DICOM接続とする。
21	2	4	2	超音波診断装置については、DICOM機能が実装されている装置を対象とする。
21	2	4	3	超音波装置からの問い合わせに対しワークリスト機能を使用し患者情報を送信できること。
21	2	4	4	超音波診断装置からDICOM画像を受信し、保存管理する機能を有すること。
21	2	4	5	任意に指定した超音波診断機器に選択された依頼情報を送信する機能を有すること。
21	2	5		超音波レポート端末は以下の要件を満たすこと。
21	2	5	1	超音波レポート作成が可能な端末を5台以上、検査室内に設置すること。
21	2	5	2	生理検査部門システム（基幹部）から取得した検査依頼情報から、生理検査オーダー情報の表示が行えること。表示内容は、検査種別を基に階層化された詳細項目一覧として表示可能で、検査種別を選択できること。
21	2	5	3	オーダー一覧表示機能は、検査日、検査項目、機械別その他必要な項目別に昇順、降順で並べ替えができること。
21	2	5	4	依頼情報から検査歴が参照でき、検査結果（画像含む）及び検査レポートが表示できること。緊急区分及び日付未定依頼（実施期限ごと）に色分け表示が可能であり、そのカスタマイズもユーザー側で容易にできること。
21	2	5	5	超音波検査レポートを作成、保存できること。
21	2	5	6	レポート入力画面を開いた際にはレポート情報に記載される患者属性情報、依頼情報について確認できること。
21	2	5	7	レポート入力画面においてレポート作成者名を選択入力出来ること。また、必要に応じて再度選択入力もおこなえること。
21	2	5	8	レポート入力画面は既設で利用している内容を使用し検査項目別に用意できること。レポートフォーマットは、病院担当者との打ち合わせを行いカスタマイズに対応すること。
21	2	5	9	レポートには、スキャナ取り込みをおこなった画像も貼付できること。
21	2	5	10	超音波ビューソフトを装備し、超音波レポート作成画面から、ワンクリックで検査画像の参照が可能なこと。
21	2	5	11	DICOMビューワ上で指定した画像を、指定の超音波レポートにドラッグ&ドロップで転記することが可能なこと。
21	2	5	12	作成した超音波検査レポートや超音波画像情報は、生理検査部門システム（基幹部）で構築するWEBと連携できること。
21	2	6		データ移行
21	2	6	1	診療、診断を行うために既存システムのデータを移行すること。
21	2	6	2	移行データは下記通り ・検査オーダー情報・患者基本情報・検査報告書データ・超音波DICOM画像
21	2	7		その他
21	2	7	1	機器の操作・運用やサービスのため、日本語マニュアルを提出すること。
21	2	7	2	聴力検査はオンライン接続できる機能を有すること
21	2	7	3	重心動揺検査はオンライン接続できる機能を有すること
21	2	7	4	血圧脈波装置とオンライン接続できる機能を有すること
21	2	7	5	病院が指定する全ての電子カルテ端末にて、12誘導心電図データは検査機器から取得した心電図生波形のまま参照する機能を有すること。（過去データを除く）
21	2	7	6	心電計からの要求に応じて、前回心電図生波形を送信する機能を有すること。
21	2	7	7	導出18誘導心電図表示、15誘導心電図表示、カブレラ誘導表示する機能を有すること。
21	2	7	8	心電計から送出されたデータは12誘導最大5分間のデータを生波形の状態でも保存する機能を有すること。
21	2	7	9	心電図生波形は、感度設定、掃引速度(25or50mm/sec)、ハイカットフィルタの変更、表示する機能を有すること。
21	2	7	10	電子カルテ端末での12誘導心電図データは、心電図生波形を参照するために、Webプラグインにより表示する機能を有すること。
21	2	7	11	心電図ファイリングシステムにおいて、心電図参照画面にて、当該患者の全ての検査結果を参照できる機能を有すること。
21	2	7	12	心電図ファイリングシステムにおいて、ユーザアカウント毎に、各種の検索条件や表示について設定する機能を有すること。
21	2	7	13	心電図ファイリングシステムにおいて、サーバからの障害通知を表示する機能を有すること。